

サイクル・エイド事業

平成30年度 事業報告書



自転車がつなぐ国際交流の輪 カンボジア

公益社団法人 アジア協会アジア友の会



この事業は、競輪の補助金を受けて実施しました http://ringring-keirin.jp

≪目次≫

1. 事	業の概要	Ę				•		•	•	•	•	•		•	•	•		•	•	-	1
2. 公	益法人	アジア協会	ミアジフ	マ友の)会(につ	いい	て		•			•			•	•	•	•	•	1
3. 平	成30(2018):	年度事	業報	告•			•		•							<u>.</u> .			2	2
(1)	自転車の	の 寄 贈・・							•									<u>.</u> .		2	2
(2)	事業推進	進のための	広報活	動の	実が	恒•	•			•		•	•		•	•	•			(6
(3)	国際交流	充プログラ	۲. ۰									-								8	3
♦ ₩	·イクル·	エイド事業	美写]	美 ••	•		•						•	•				•	•	1	0
[資料]																					
サイク	ル・エイ	ド支援会談	規	勺••	•						•		•						•	1	8
サイク	ル・エイ	ド支援会調	義 委員	員名簿	F •															1	9
サイク	ル・エイ	ド事業の紹	過••				•							•						2	0
サイク	ル・エイ	ド事業実績	責の推利	多••	•															2	1

1. 事業の概要

「放置自転車を再生し、世界の子どもたちに贈ろう!」を合言葉に誕生したサイクル·エイドは、放置自転車を府内市町村の協力のもと、修理、再生し、海外の子どもたちに贈る事業である。

大阪府内の放置自転車の数は、年間 50 万台にのぼり、うち約半数は引き取り手がないために大きな社会問題、環境問題となっている。一方、アジアやアフリカでは学校の数が十分でないため、長時間歩いて学校に通うか、遠すぎるために通学できない子どもたちが数多くいる。

こうした子どもに自転車を贈ることで、教育環境の向上などに寄与し、国際交流の絆を深めることをこの事業の目的とする。放置自転車を修理、再生し、リユースの好循環によって、 大阪府内の環境負荷を軽減し、資源循環型社会に向けて地球環境に優しい自転車の活用を促進することを目指す。

2005年度より、本会が事務局として事業を実施。大阪府等がメンバーとなったサイクル・エイド支援会議を設置し、事業を円滑に進めていくようサポートしている。

(参考: 資料「サイクル·エイド支援会議規約」 「サイクル·エイド支援会議委員名簿」)

2. 公益社団法人アジア協会アジア友の会について

公益社団法人アジア協会アジア友の会は、アジアに暮らす人々のネットワークを通じて「貧困なきアジア共同体」の形成を目指す、国際民間協力団体(NGO-Non Governmental Organization)である。生命にとって最も大切な水、飲料水の欠乏が深刻なアジアに井戸を贈る運動として 1979 年に発足した。

現在、それぞれの地域に見合った活動をよりきめ細かに行うために、アジア 18 ヶ国 69 ヶ所にある現地提携団体とネットワークを形成し、その中央事務所を大阪においている。

アジアの人々との「理解と協力と連帯」を目指して、安全な飲料水(井戸)供給のほか、植林、教育、生活向上などの様々な自立開発協力事業、各国ボランティア団体の育成、国際交流活動(ワークキャンプ等)の推進、国際理解教育、また地球の自然環境保全活動を主たる事業として活動している。

3. 平成 30 (2018) 年度事業報告

(1) 自転車の寄贈

◆自転車の提供 計723台、車椅子2台

放置自転車を収集するために、府内各市町村へ協力の呼びかけを実施。今年度は下記の 7ヶ所から協力を得ることができた。回収された自転車は各市で選別、修理、再生後に 泉大津市にある堺泉北港へ運搬され、海上輸送された。

◆府内協力市及び台数

堺市 200 台、八尾市 100 台、泉佐野市 110 台、大阪市 119 台、泉大津市 55 台、 高石市 50 台、東大阪市 89 台

今年度はタイに 350 台、カンボジアに 373 台、合計 723 台の自転車が寄贈された。事業開始以来、アジア、アフリカの 10 ヵ国に合計 31,430 台の自転車と 2 台の車椅子を贈ることができた。

タイ 350 台

タイに贈られた自転車は、TAFS (注 1) の協力のもと、スパンブリー県の子ども達の通学に加え、コミュニティワーカー、医療従事者の巡回、貧しい農民、病院 (脚の手術をおこなった患者のリハビリ用)、環境保全の活動に従事する人々に手渡され、有効に活用されている。

バンハーンジャムサイ工科大学では、カリキュラムのひとつに自転車の修理・メンテナンスを取り入れ、受益者達が安全に長く自転車を活用できるよう、サポート体制がつくられている。また、自転車が手渡される前に、受益者には安全講習をおこなわれ、メンテナンスも含め事故のないよう、指導がおこなわれた。

遠方から通う子ども達にとって、教育を継続して受けるために自転車は非常に大きな助けとなっている。今回の寄贈をきっかけに、NGO、地方行政、村人、学校の先生、保護者、地元有力者等によるネットワークが形成され、スパンブリー県以外の県にもその協力体制が拡がっている。今後も人と環境に優しい自転車を通じて地域の生活改善に取り組むこととなった。また、今回は高石市からご寄贈頂いた車椅子をスパンブリー病院に寄贈し、車椅子を必要としている患者さんが安全に使えるよう、管理されている。

2月8日~13日には国際交流プログラムがおこなわれ、自転車の有効活用について様々な意見交換がおこなわれた。

※注1

◆タイ・アジア友の会=TAFS (Thai Asian Friendship Society)

会長:シリニー・シリフォンポン氏 事務局長:ニラン・チャンタ氏

所在地:タイ

活動範囲:タイ国全域 基本的目標:貧しい人々の生活改善と教育支援

【沿革】タイで最も貧しい10県の1つであるナン県出身のニラン・チャンタ氏が、

北部タイの窮状を支援するため、1994年に発足。バンコクに事務所をおき、ナン県、チェンマイ県、ランプーン県、チェンライ県、ランパーン県、ノンタブリ県に各部会を持つ。部会と相互に協力しながらトイレや給水タンクの建設、学校や寄宿舎の建設を通じて、貧農の子ども達の教育支援、農村生活改善、国際交流等を行っている。

平成 17 年度よりサイクル·エイド事業を通して、地域の環境教育、自然環境保全に積極的に取り組んでいる。

【活動】農村生活改善、教育支援、国際交流、環境保全等



カンボジア 373 台

カンボジアに贈られた自転車は、KAFS(注2)の協力のもと、学校に通う子ども達や先生、地域のコミュニティワーカーや自転車を必要としている農民達に寄贈され、通学や仕事のために活用されている。

自転車の利用で地域の農民達が効率よい生活環境に変えていくことにより、女性の社会 進出や生活向上へつながっている。また、勉強を続けたいが、家庭の経済的状況のため毎 日の通学や進学をあきらめていた小・中・高校生の子ども達に寄贈され、毎日安全に通学 し、継続して教育を受けられるようになった。

自転車を受け取った子ども達や家族はとても喜び、大切に自転車のメンテナンスをおこない、またより熱心に勉強や仕事に取り組むようになってきている。

自転車の寄贈は、公平により必要とされている人々に贈れるよう、政府、NGO、村の組織等で協力体制をとりながら、話しによってきめられている。今年度はタケオ州プレイカバ地区のチャンパー村やプレイベン州プレイヤン地区、メソプロチャン村の中で必要としている人々に寄贈された。受益者の決定については各家庭を訪問し決定された。まだ、多くの希望者が待っており、事業の継続が求められている。

2019 年 3 月 27 日~31 日に自転車贈呈式典と国際交流プログラムがおこなわれた。プレイベン州プレイヤン地区、メソプロチャン村では 5 つの小学校の子ども達に 300 台の自転車が贈られました。プレイベン州はプノンペンから約 90 km東に位置し、ベトナムと国境を接する平原湿地が州のほとんどを占め、住民の約 80%が稲作を中心とした農業で生計をたてている。タケオ州プレイカバー地区のチャンパー村のチュロイ小学校には 73 台の自転車が贈られた。プノンペンから南に約 80 kmに位置する田園地帯で、住民のほとんどが稲作や果樹園、蓮園等の農業で生計を立てている。

自転車贈呈式の後は教室で子ども達と「好きなことと将来の夢」をテーマに交流がおこなわれた。勉強を続けたいが、家庭の経済的状況のため毎日の通学や進学をあきらめていた小・中・高校生の子ども達にとって自転車は、毎日安全に通学し、継続して教育を受けられる大きな助けとなっている。

今、カンボジアでは毎週木曜日に各学校の生徒が朝早くからのゴミひろいをする運動が拡がっている。今まで道端にたまっていたゴミが減り、きれいになると新たにゴミをすてる人も減ってくる。小さなことの積み重ねが住民の意識を少しずつ変え、地域の環境改善につながるボランティア活動が拡がってきている。

※注2

◆クメール·アジア友の会=KAFS (Khmer Asian Friendship Society)

会 長:セン・リム・ネウ氏(内閣官房事務次官)

所在地:カンボジア・プノンペン

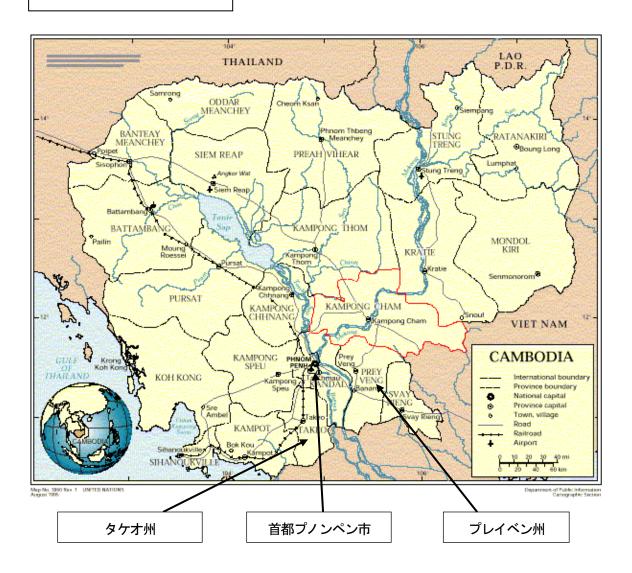
活動地域:タケオ州、コンポンチュナン州、コンポンスプー州、カンダール州周辺

基本的目標:国家復興に向けた農村開発事業を通じての自立支援

【沿革】KAFS は 1994 年にカンボジアにおけるアジア協会アジア友の会の提携団体として発足。事務局長のロン・チョーン氏が外務次官ウン・シアン氏(当時)の推薦で、インドにおいて開催されたアジア国際ネットワークセミナーに参加したのがきっかけとなり、設立に至った。

【活動】井戸建設、教育支援、少額貸付、牛の銀行、グリーンスカウト運動等

カンボジア寄贈先 地図



(2) 事業推進のための広報活動の実施

① 事業 PR 用パネル・パンフレットの活用

事業の説明や写真を載せたパネルやパンフレットを活用し、イベント 等で広く一般への広報活動をおこなった。

② 公益社団法人 アジア協会アジア友の会 HP による情報発信

http://jafs.or.jp/action/cycle-aid/

大阪府 HP による情報発信

http://www.pref.osaka.lg.jp/kokusai/cycleaid/

③ 広報媒体による情報発信

JAFS 機関紙「アジアネット 137 号」に掲載し、協力者をはじめ様々なプログラムで配布し、活動について紹介した。

④ 各種イベントとの連携、企業への協賛金依頼

大阪府自転車軽自動車商業協同組合からは修理キットの無償提供、港までの運搬のご協力をいただいた。

さらに下記イベントにおいてサイクル・エイド事業の活動紹介を行い、 募金活動、協力の呼びかけ等を実施した。

(3)サイクル・エイド関連国内プログラム

◆ サイクル・エイド支援会議開催・意見交換・事業報告会

日程:2018年6月25日(月) 場所:大阪府

参加者:10名

内容: 寄贈先での自転車利用状況や活用方法について報告会をおこなった。現地で自転車を必要としている村の状況や子ども達を取り囲む環境についてより深く知ってもらいうことができた。また、この事業から派生して環境保全の取り組みや、福祉環境の改善、地域の他の事業への協力体制も徐々に強まってきていることから、事業を継続しておこなっていくこととなった。

◆ 泉大津フェニックス野外コンサート

日程: 2018 年 8 月 25 日(土)、26 日(日)、9 月 1 日(土)、17 日(月・祝)

場所:泉大津フェニックス

主催:泉大津フェニックス夏フェス 18 実行委員会事務局

来場者数:合計 約66,000人

<内容>

泉大津フェニックスが誕生した新しい町「夕凪町」では、空と海、そして全面芝生という心地よい空間で、野外コンサート等各種イベントが開催されている。今年度はRUSH BALL2018、OSAKA HAZIKETEMAZARE FESTIVAL 2018 が開催され、多くの音楽ファンを魅了した。コンサート主催者の多大なる協力のもと、会場内のブースでサイクル・エイド事業の活動紹介とチャリティ出展をおこない、海上輸送への協力を得ることができた。

◆第 44 回四條畷市民の集い

日程: 2018 年 10 月 28 日(日) 場所: 四條畷市

主催:市民憲章推進協議会

<内容>

サイクル・エイド事業の広報活動として展示と活動紹介、チャリティ出展をおこない、 海上輸送への協力を得ることができた。

◆国際交流プログラム

【フィリピン料理教室】

日程: 2018 年 4 月 10 日(火)

場所:クレオ大阪西参加者:16名

【タイ料理教室】

日程: 2018年5月29日(火)

場所:クレオ大阪西参加者:17名

【ベトナム料理教室】

日程: 2018年6月26日(火)

場所:クレオ大阪西参加者:21名

【スリランカ料理教室】

日程: 2019年3月16日(土)

場所:クレオ大阪西 参加者:14名

内容:寄贈国の料理を通じて、楽しく身近にその国を理解できるよう、日本に住むその国の講師に迎え、料理教室をおこなった。参加者は家庭料理を学びながら、その国の習慣や文化等についても話を聞き、プロジェクトの背景についても知ることができた。

【第35回土と水と緑の学校】

日程: 2018 年 8 月 6 日(月)~11 日(土)

場所:新宮市 参加者:159名

内容:子どもたちの自然環境教育プログラムにフィリピンより参加。大自然の中での生活体験を通じ、自然の成り立ちや不思議を知り、人間を含む生態系の営みや自然を大切にすることを学び、未来を担う子ども達により豊かな心を育てていく環境教育や地域の環境保全等について意見交換をおこなった。

【タイ 国際交流プログラム】

日程: 2019年2月8日(金)~13日(水)

場所:タイ スパンブリー県

参加者:約200名

内 容: 自転車寄贈先であるバンハーンジャムサイエ科大学を拠点として自転車贈呈 式典がおこなわれ、行政・学校(教師・保護者・生徒)・農民等の村人達を対象に、 現地提携団体とともに本事業の目的・目指すところ・事業内容等の紹介、説明をおこ なった。

本事業に関係する様々な分野の協力者と意見交換をおこなうことで、今後の事業の必要性や進め方や取り組みについて話し合うことができた。市民によるハッピーバイク&ウェルチェアネットワークがつくられ、安全で効果的な自転車利用についてサポー

ト体制が整えられた。また、地球や地域の環境保全について意見交換をおこない、次世代のために協力体制を組んで環境保全に取り組み、継続した活動をおこなっていくことを確認した。

【カンボジア 国際交流プログラム】

日程: 2019年3月27日(水)~31日(日)

場所:カンボジア タケオ州、プレイベン州

参加者:約200名

内容:自転車寄贈先であるタケオ州とプレイベン州の小学校で自転車贈呈式典をおこない行政・学校(教師・保護者・子ども)・農民等の村人達を対象に、現地提携団体とともに本事業の目的・目指すところ・事業内容等の紹介、説明をおこなった。自転車を必要とする子どもたちの通学環境や村での生活の様子をすることが出来た。また、地元の協力者と意見交換をおこなうことで、今後の事業の必要性や進め方や取り組みについて話し合うことができた。また環境にも優しい自転車を活用することで、地球環境保全への意識を高め、同じ地球市民としての視点をもち、互いに協力しあう国際交流の推進活動を拡げていくことが期待される。自転車を通じて、日本と各国の国際交流が活発になり、また、事業を継続することで人と人の絆が深まり、草の根の理解と協力の輪と協力の輪が拡がってきている。

※この事業は競輪の補助を受けて実施しました。



タイ 自転車贈呈式典に集まる受益者の子ども達とメンバー



タイ 高石市からの車椅子を病院に寄贈



タイ ハッピーバイク&ウイェルチェアーのメンバー



タイ チャリティサイクリングで地域のお寺をまわる



タイ 工科大学の授業としてメンテナンスや安全講習を行う



タイ 自転車を一人ずつ手渡す



カンボジア 補助事業について説明



カンボジア 自転車を受け取って嬉しそうな子ども達



カンボジア自転車贈呈式典には多くの村人・子ども達が出席



カンボジア 自転車を一台ずつ寄贈者に手渡していく



カンボジア 自転車贈呈式典で事業説明



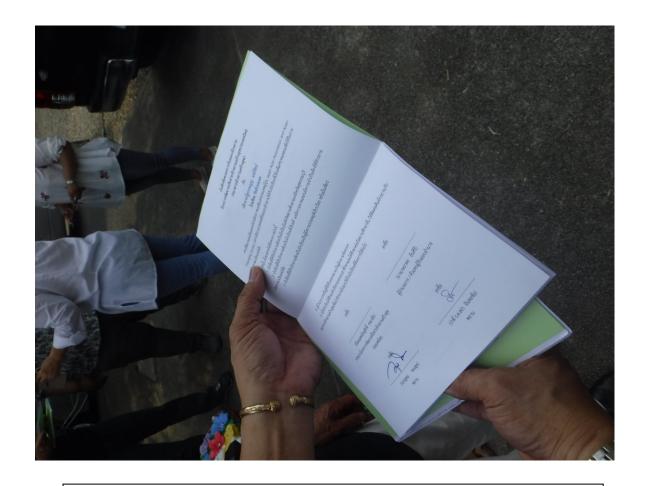
カンボジア 小学校での交流プログラム



カンボジア サイクル・エイド委員会のメンバーと子ども達



カンボジア 地域の清掃に取り組む子ども達



タイ 自転車のカルテを作成し利用者が安全に乗れるように工夫



アジア家庭料理教室 国際交流プログラム (大阪府大阪市)

サイクル・エイド支援会議規約

(名称)

第1条 本会は、サイクル・エイド支援会議という。

(目的)

第2条 本会は、大阪府内に放置されている自転車等を再生し、これをアジア・アフリカをはじめ、自転車を必要とする子ども達等に贈る、社団法人アジア協会アジア友の会が実施するサイクル・エイド事業が、円滑に推進できるよう助言及び支援を行うことを目的とする。

(組織)

第3条 本会は、前条に掲げる目的に賛同し、推進する関係団体(以下「構成団体」という)をもって組織する。

(委員)

第4条 構成団体を代表する者をもって委員とする。 ただし、委員は代理をもって充てることができる。

(委員の任期)

第5条 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。

(役員)

- 第6条 1 本会に、次の役員を置く。
 - (1)委員長 1名
 - (2)副委員長 1名
 - (3) 事務局長 1名
 - 2 委員長及び副委員長は、委員の中から互選により選任する。
- 第7条 1 委員長は、本会を代表し、会務を統括する。
 - 2 副委員長は、委員長を補佐し委員長に事故があるとき又は委員長が欠けたときは、その職務を代行する。
 - 3 事務局長は、社団法人アジア協会アジア友の会の事務局長をあて、本会 の事務を司る。

(顧問)

第8条 本会に、顧問を置くことができる。

(専門部会)

- 第9条 本会に、次の専門部会を置く。
 - (1) 資金調達部会
 - (2)物資調達部会

(会議)

第10条 必要に応じ、会議を開催する。

附則 この規約は平成17年4月1日から施行する。 この規約は平成21年3月25日から施行する。(一部改正)

サイクル・エイド支援会議委員名簿

令和元年6月

〔委員長〕

吉村 洋文 大阪府知事

〔副委員長〕

萩尾 千里 公益社団法人 アジア協会アジア友の会会長

〔委員〕

近藤 博宣 大阪商工会議所 常務理事兼事務局長

澤井 宏文 大阪府市長会 会長(松原市長)

中山 行男 大阪府自転車軽自動車商業協同組合 理事長

永藤 英機 堺市長

野澤 隆寬 一般財団法人 自転車産業振興協会 会長

堀井 良殷 公益財団法人 関西・大阪 21 世紀協会 理事長

松井 一郎 大阪市長

山﨑 一 一般社団法人 自転車協会理事長

吉川 秀降 公益財団法人 大阪国際交流財団 理事長

和田 吉衛 大阪府町村長会 会長(忠岡町長)

[事務局長]

村上 公彦 公益社団法人 アジア協会アジア友の会 事務局長

[事務局:(公社)アジア協会アジア友の会内]

[顧問]

アンドリュース ヤング 元アトランタ市長

下中 融 元熊取町長

永山 一郎 特定医療法人三和会 会長

向江 昇 元泉佐野市長

*委員。顧問は五十音順

サイクル・エイド事業の経過

- 平成9年4月:アトランタ市の元市長、元米国国連大使であるアンドリュー・ヤング大使の呼びかけに応え、大阪府、関係市等で委員を構成するサイクル・エイド委員会を発足。
- 平成 15 年 8 月:第 11 回サイクル・エイド委員会で、今後の運営のあり方について検討を行うことを決定。
- 平成 16 年 8 月:第 12 回サイクル・エイド委員会において、平成 17 年度からサイクル・エイド事業を、社団法人アジア協会アジア友の会が主体となって実施することを了承。
- 平成17年3月:サイクル·エイド支援会議準備会議開催。
- 平成 17 年 4 月: 社団法人アジア協会アジア友の会が実施主体となるサイクル・エイド事業がスタート。また、サイクル・エイド事業の円滑な推進を図るための支援を行う「サイクル・エイド支援会議」が発足。

サイクル・エイド事業実績の推移(単位:台)

年度(喊)

~16

2019年3月31日

計

	西暦	1997-2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	н
결	<u> </u>	15,706	1890	2155	2167	1550	1890	680	410	740	701	731	703	750	634	723	31,430
-	南アフリカ	11,073															11,073
寄贈先	フィリヒ [°] ン	1,080	579	1090	807	880	510	350		350		350	353	375			6,724
	スリランカ	1,150	807														1,957
	カンホ゛シ゛ア	683	504	725	680							381	350		284	373	3,980
	タンサ゛ニア	1,180															1,180
	イスラエル	340															340
	タイ			340	340	670	,380	330	370	350	701			375	350	350	5,556
	ヘートナム				340												340
	マダカスカル	200															200
	東日本								40	40							80
	被災地								40	40							80
左	F度(喊)	9 ~ 16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	計
	西暦	1997-2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	
協	力市寄贈数	16,556	1040	2155	2167	1550	1890	680	410	740	701	731	703	750	634	723	31,430
	堺市	7,057	440	935	940	320	360	140	80	210	200	200	204	200	200	200	11,686
45	泉佐野市	2,832	100	300	200	200	200							100	100	110	4,142
	八尾市	2,325		200	220	280	510	200	100	270	200	200	209	200	106	100	5,120
	松原市	1,280	200	150	150	110	200										2,090
	阪南市	542	120	120	120	150	120	120	100	120	101	100	100	100			1,913
	吹田市	500	100	45													645
	大阪市	612									100	100	100	100	100	119	1,231
	泉大津市	300		100	101	130	200	100	50	100	100	100	90	50	50	55	1,526
	藤井寺市	299															299
	泉南市	51	80	155	156												442
	箕面市	285															285
提供	柏原市	250															250
供 市	高石市	30		150	200	120	180	80	30							50	840
	具塚市	100		130	200	120	100	00	30							30	100
	豊中市	50															50
					00	0.40	150										
	寝屋川市	50			80	240	150										520
	和泉市	20															20
	四條畷市							30	40	40		30					140
	東大阪市															89	89
	府公園課														78		78
	民間	3										1					4
	保管						-20	10	10								0
	スクラッフ゜	-30					-10										-40
	*	2018 年度高石	市より	車椅子	2 台寄	 碧											

^{*2018} 年度高石市より車椅子 2 台寄贈



令和元(2018)年6月発行

編集・発行 公益社団法人 アジア協会アジア友の会(JAFS) $\mp 550\text{-}0002$ 大阪市西区江戸堀 1-2-14 肥後橋官報ビル 5F

TEL: 06-6444-0587 FAX: 06-6444-0581